

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 横代 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）	
①	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問調査

生徒質問調査	
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	

3. 教科に関する調査結果の概要

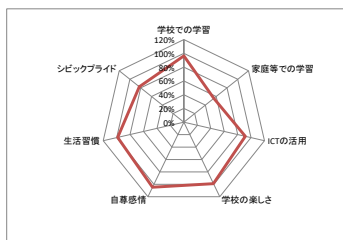
- (1) 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.5	57	7.8	49
全国	8.7	58	8.4	53

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	物語で用いた表現の技法で課題が見られるものの、物語の場面と描写を結びつけて内容を解釈する問題に関しては、授業の成果が見られる。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくなった問題	説明するうえで適切なものを選択する問題	
	努力が必要な問題	短文に用いられる表現の技法の問題、自分の考えを書く問題	
数学	全体的な傾向や特徴など	図形問題、関数問題で課題が見られるが、データを活用して解答を導く問題、連立方程式を解く問題に関しては、授業の成果が表れている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくなった問題	正の数と負の数の加法計算問題、一次関数の問題	
	努力が必要な問題	式やグラフを用いて説明する問題、三角形であることを証明する問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析

・先生はあなたのよいところを認めてくれますか?の質問で、肯定的な答えの割合は、全国の割合よりも高く、生徒と教職員の関係性が良好といえる。

・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか?」の質問では、全国の割合よりも高く、学習の中で話し合い活動が生徒達の学習課題等の解決に結びつき、考えを深める授業が行われているといえる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

・基礎学力の徹底を図るため、朝自習では基礎基本的な内容に改善して取り組むことを継続して行う。

・放課後教室、ひまわり教室を開設し、授業内容の理解や目的に応じて学習支援を行う。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭学習の習慣化を図るため、各教科による宿題や自主学習ノートの工夫をより一層進め、効果的な家庭学習の在り方を提案する。